

# 2026年3月期（第16期） 第1四半期決算説明資料

2025.7.25

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

## 目次

---

1. 2026年3月期（第16期）第1四半期決算概要
2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想
3. トピックス

# 1. 2026年3月期（第16期） 第1四半期決算概要

## (1) 2026年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2025年 3月期 第1四半期	2026年 3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	11,184	10,469	△ 715	-6.4%
映像&IT	7,465	7,801	+336	4.5%
ロボティクス	3,719	2,667	△ 1,052	-28.3%
営業利益	△ 275	21	+296	—
経常利益	△ 47	△ 46	+1	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 219	△ 138	+81	—

前年同期実績比  
**減収増益**

**減収要因：**

- ・「ロボティクス事業」減収

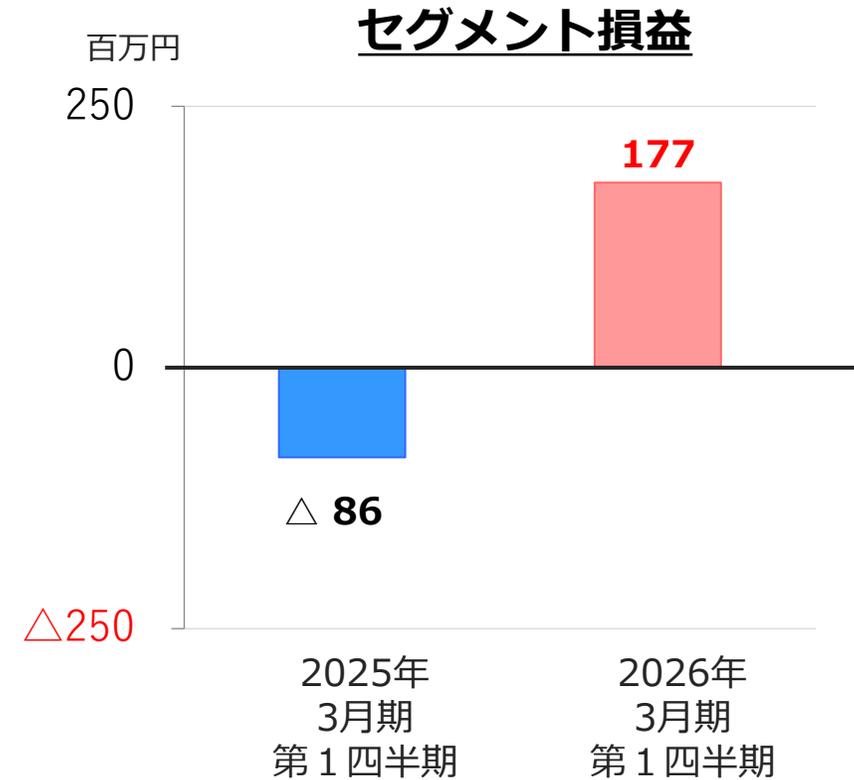
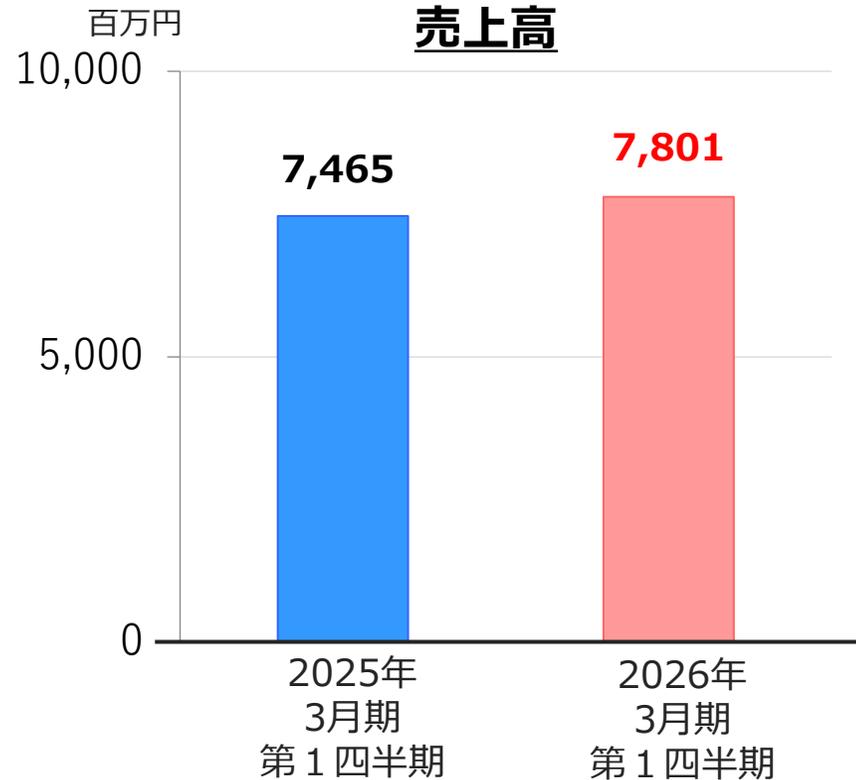
**増益要因：**

- ・粗利益率の改善
- ・販管費の削減

**その他：**

- ・営業外費用108百万円(為替差損)

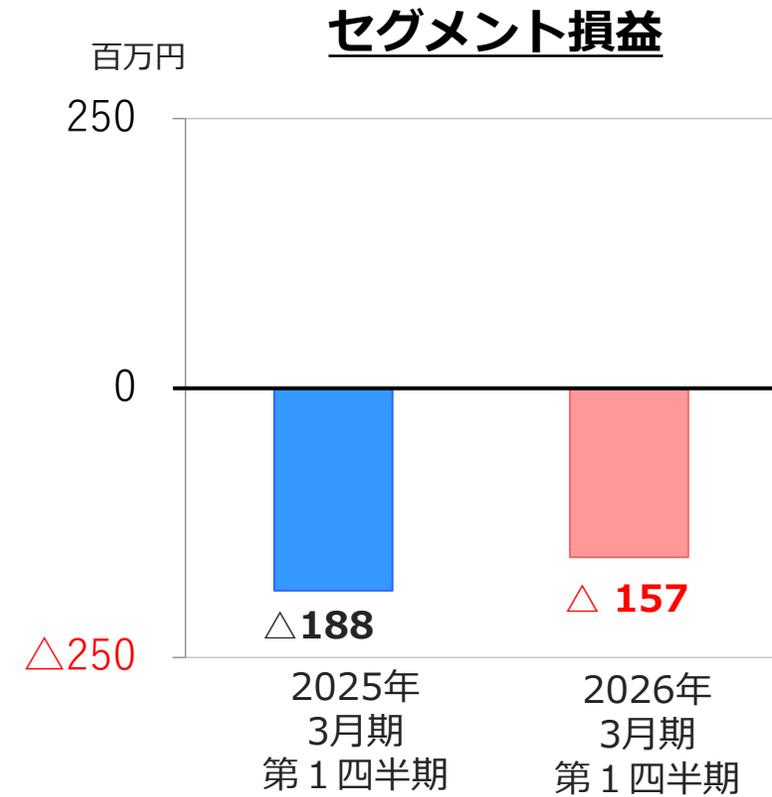
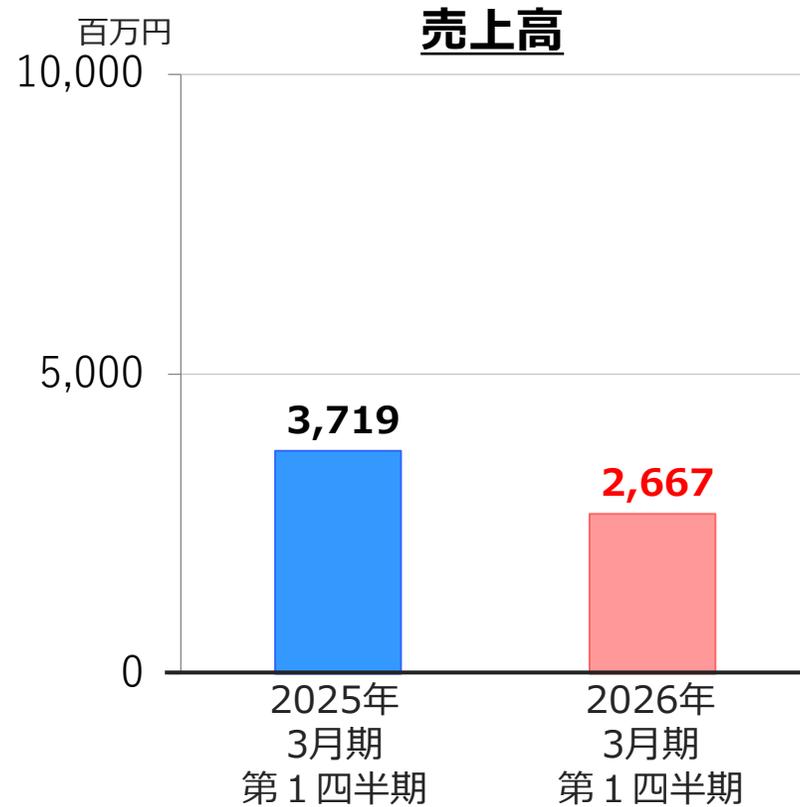
## (2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・シンガポールの子会社 2 社が前年同四半期並みに推移  
Pacific Tech Pte. Ltd. (サイバーセキュリティ製品の卸売)  
ESCO Pte. Ltd. (オフィス機器、AVシステムの販売)

- ・教育市場 (電子黒板、書画カメラ等) : ①欧米 前年同四半期並みに推移  
②国内 GIGAスクール構想で導入した機器の入替が進み、利益率の改善に寄与  
GIGAスクール構想第2期を見据え、営業活動の強化を図る

### (3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ F A 事業関連機器：国内 量産が縮小し売上高は前年同四半期比で減少  
採算性の高い製品構成への転換により、粗利益率が改善  
前期に開発が遅れた半導体製造向けハイエンドX線検査装置の出荷が開始

## (4) 2026年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2025年 3月期	2026年 3月期 第1四半期	増減
流動資産	28,260	25,938	△ 2,321
固定資産	9,136	8,712	△ 424
<b>資産合計</b>	<b>37,397</b>	<b>34,651</b>	<b>△ 2,745</b>
流動負債	22,560	20,087	△ 2,473
固定負債	4,738	5,275	+ 537
<b>負債合計</b>	<b>27,298</b>	<b>25,362</b>	<b>△ 1,936</b>
株主資本	7,386	6,989	△ 396
その他の包括利益合計額	2,702	2,298	△ 403
<b>純資産合計</b>	<b>10,098</b>	<b>9,288</b>	<b>△ 809</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>37,397</b>	<b>34,651</b>	<b>△ 2,745</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>27.0%</b>	<b>26.8%</b>	<b>△0.2pt</b>

**流動資産**

・現金及び預金	: + 1,320百万円
・受取手形及び売掛金	: △3,882百万円
・電子記録債権	: + 90百万円
・商品及び製品	: + 464百万円
・仕掛品	: + 259百万円
・原材料及び貯蔵品	: △80百万円
・その他	: △503百万円

**固定資産**

・有形固定資産	: △25百万円
・無形固定資産	: △212百万円
・投資その他の資産	: △186百万円

**流動負債**

・支払手形及び買掛金	: △1,303百万円
・短期借入金	: △692百万円
・未払法人税等	: △78百万円
・賞与引当金	: △150百万円

**固定負債**

・長期借入金	: + 513百万円
--------	------------

**純資産**

・利益剰余金	: △387百万円
・為替換算調整勘定	: △399百万円

## 2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想

## (1) 2026年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

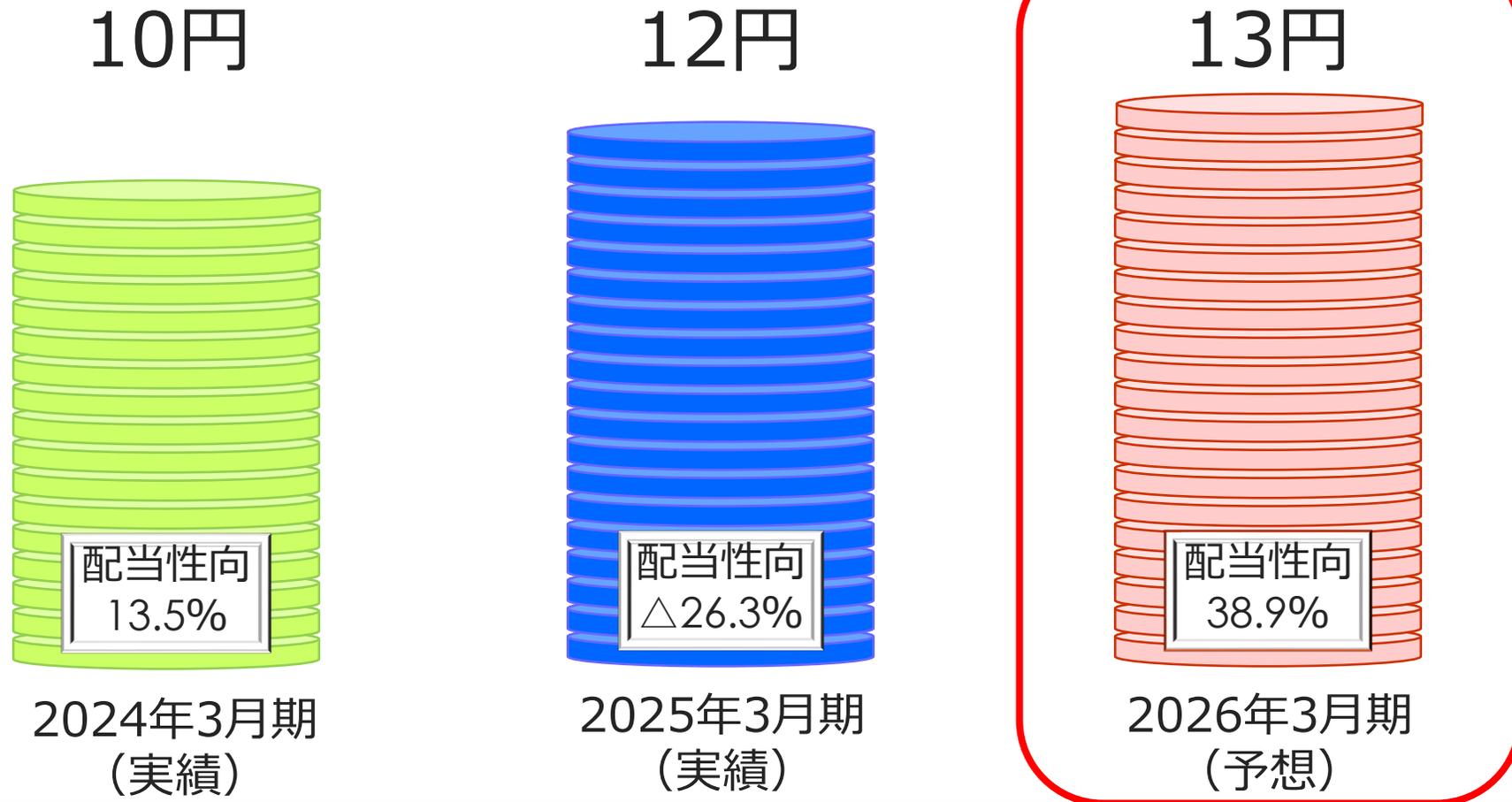
	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	50,624	53,000	+2,376	4.7%
営業利益	373	1,200	+827	221.2%
経常利益	350	950	+600	171.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 616	450	+1,066	—

**着実な成長****増収要因**

- ・買収先企業とのシナジー追求
- ・既存事業の底上げ

## (2) 2026年3月期 配当予想

年間配当予想：年間**1株あたり13円**



## 3. トピックス

# (1) 私たちが目指すもの



## 私たちが掲げるミッションと目指すべき未来

- ▶ グローバルな人と社会に貢献すること、すなわち、映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来。そしてその先にある、「人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会」の実現です。従来の「教育」「安全・生活」「医療」「FA」といった事業領域の枠組みを、少し形をかえて、「**教育ICT**」「**企業・自治体DX**」「**FAロボット**」「**ビジョンシステム**」に組み替えました。

### ■「教育ICT」では

多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学びが求められる中、ICT機器や学習支援システムを通じて、教育現場の質の向上を支援し、未来の人材育成を支えます。

### ■「企業・自治体DX」では

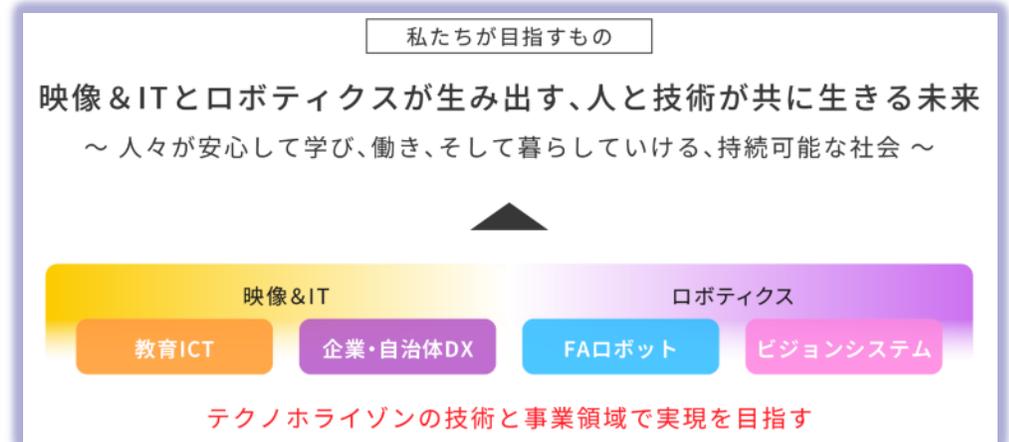
仕事の価値を高め、効率的かつ安全な運営や、サービスのクオリティ向上に貢献します。

### ■「FAロボット」が活躍する製造現場では

高い品質と生産性の両立が求められ、精密制御や検査技術を活用することで、課題解決に取り組みます。

### ■「ビジョンシステム」分野では

人の目では捉えきれない情報を映像技術とAIで可視化し、迅速かつ正確な判断を支援することで、より良い社会インフラを支えます。



## (2) テクノホライゾンの動き

**TECHNO HORIZON**

テクノホライゾン株式会社



### 連結子会社の完全子会社化

- ▶ 2025年5月、当社の連結子会社である株式会社ブルービジョンの発行株式（発行済株式数 1,800株）の内、340株（18.89%）を取得し完全子会社化しました。

#### 1. 株式取得の理由

ブルービジョンは、コアテクノロジーとして「光学系の開発技術」、「光信号処理技術」を保有し、これらを応用した特殊波長帯の分光イメージングカメラ等の開発を積極的に行っております。この度、グループ経営の効率化と意思決定の迅速化を目的に、完全子会社化するものであります。

#### 2. 対象会社の概要

(1) 商号	株式会社ブルービジョン
(2) 所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-2 友泉新横浜ビル
(3) 代表者	熊澤 崇
(4) 事業内容	光学機器及び関連機器の企画・設計・製造・販売
(5) 資本金	90百万円
(6) 設立	2009年4月16日

**TECHNO HORIZON**

テクノホライゾン株式会社

### 公認会計士等の異動

- ▶ 2025年6月27日開催の第15回定時株主総会において、決議事項 第2号議案「会計監査人選任の件」が承認可決されました。

#### 1. 就退任する公認会計士等の概要

##### (1) 就任する公認会計士等の概要

①名称	有限責任監査法人トーマツ
②所在地	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビルディング
③業務執行社員の氏名	伊藤 達治 / 滝川 裕介

##### (2) 退任する公認会計士等の概要

①名称	有限責任あずさ監査法人
②所在地	東京都新宿区津久戸町1番2号
③業務執行社員の氏名	川口 真樹 / 杉浦 章裕

#### 2. 1 (1) に記載する者を公認会計士等の候補者とした理由

新たな視点での監査及び機動的な監査が期待できることに加え、会計監査人として期待される専門性、独立性、適切性、監査品質管理体制並びに監査報酬の水準等を総合的に勘案した結果、同監査法人が適任と判断したためであります。

## (2) テクノホライゾンの動き



テクノホライゾン株式会社

### 第 11 回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 「最優秀賞」 受賞

- ▶ 2025年4月、緊急時・災害時の意思決定のスピードと質を向上させる「ELMO 緊急対策ソリューション」が、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催の「第 11 回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞)」において、「ジャパン・レジリエンス・アワード 最優秀賞」を受賞しました。



#### ■ 「ELMO 緊急対策ソリューション」について

緊急時・災害時の情報共有の仕組みを提供いたします。自治体および企業の災害対策本部において、各方面から寄せられる様々な情報をデジタル／アナログ問わず〈電子作戦テーブル〉上に集約し、分析、判断、指示・共有という一連のオペレーションが可能です。また、〈リアルタイム情報共有システム〉を介して本部と出先機関・現場などの遠隔地を繋ぐことにより、相互に、映像・音声・資料共有を用いた正確な情報伝達ができます。これら一連の業務をシームレスに実現し、各場面での対応に高い効果を発揮するものです。

#### ■ 「ELMO 緊急対策ソリューション」が実現すること

- ▶ **対応能力向上**：事案処理の速度及び事案管理の確実性を向上させる。
- ▶ **連携強化**：情報共有や協議を適時適切に実施できる態勢を作り、時機を逸せず意思決定をする。
- ▶ **DX化**：本部運営をDX化し、業務負担軽減及び業務効率化を図るとともに、現場との情報共有を容易にする。また各種情報の集約により意思決定の迅速化を図る。



## (2) テクノホライゾンの動き



テクノホライゾン株式会社



### ユニバースケープ株式会社の株式取得 (子会社化)

- ▶ ユニバースケープ株式会社の全株式を2025年7月1日に取得し子会社化しました。

#### 1. 株式取得の目的

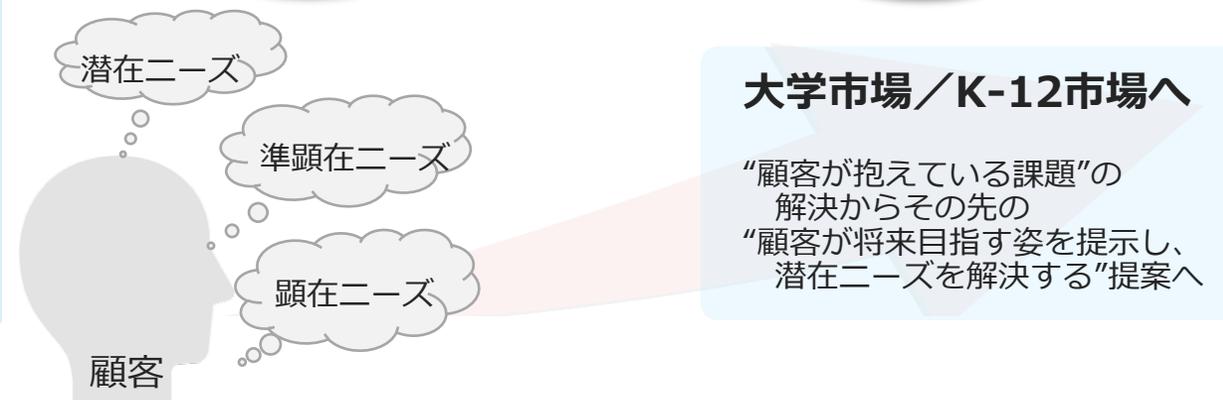
ユニバースケープは、「学校（大学）作り」を全面的に支援する「コンサルティング事業」と、様々なソリューション・サービスを提供する「ソリューション・総合企画推進事業」を柱に、教育機関に向けたブランディングの促進や課題解決を提供しています。ユニバースケープが当社グループに仲間入りし、日本の魅力あふれる教育マーケットに対して支援及びサービスを提供することにより、教育の質を高める好循環を生み出すことが可能になると期待しています。

#### 2. 対象会社の概要

(1) 名称	ユニバースケープ株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区九段南3丁目5番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 土居 育男
(4) 事業内容	・大学経営全般におけるコンサルティング事業 ・募集広報、キャリア領域における総合企画推進事業
(5) 資本金	5百万円
(6) 設立年月日	2010年4月1日
(7) 大株主及び持株比率	土居 育男(100.0%)

#### 3. シナジー

『様々な教育ソリューションを保有するテクノホライゾングループ各社』と『大学へのコンサルや既存の製品・サービスの枠を超えて総合的な企画が行えるユニバースケープ社』がともに顧客課題に向き合うことで、新しい教育ソリューションの提供等を通して、**将来を見据えた潜在ニーズの解決につながることが期待できます。**



## (3) 製品・サービス情報



私立校のための使いやすい校務システム  
 スクールマスター Zeus

### 株式会社アットシステムの一斉連絡システム『eメッセージ』とスクールマスターZeusの機能連携

- ▶ 株式会社アットシステムの一斉連絡システム『eメッセージ』とウェルダンシステムの『スクールマスターZeus』が2025年4月に機能連携しました。

『eメッセージ』で登録された欠席連絡がスクールマスターと連携することで、事務職員の電話対応がなくなるほか、担任の手作業による欠席登録も不要になるので、煩雑な出欠登録の手間から解放されます。

New 一斉連絡システム  
 『e-メッセージ』と  
 連携可能になりました!



私立校のための使いやすい校務システム  
 スクールマスター Zeus

※「e-メッセージ」は、株式会社アットシステムが開発した一斉連絡システムです。



テクノホライズン株式会社



### 児童向けのペイント&発表ソフトウェア「ピクチャーキッズクラウド」に新機能「半透明水彩調」が搭載!

- ▶ 児童向けのペイント&発表ソフトウェア「ピクチャーキッズクラウド」の新機能として、絵の具での表現の幅を広げる「半透明水彩調」を搭載した新バージョンを2025年8月にリリースします。

「子どもたちがもっと多様な表現をできるようにしたい」とご要望をいただき、従来の「アクリル調」に加え、学童用絵の具を再現した「半透明水彩調」を搭載しました。さらに、新たな「新聞」テンプレートや Google ドライブ™ 連携も実装し、より使いやすくなり、「デジタルじゅうちょう」として1人1台端末のさらなる利活用を促進し、子どもたちの身近な表現活動をサポートします。



「半透明水彩調」を搭載



「新聞」テンプレート

## (4) 海外子会社情報



### ESCO Pte. Ltd. グループ 受賞 / Partner認定

#### ① ESCO Pte. Ltd. が、Logitechから3つの賞を受賞しました。

- FY2025 Service Partner of the Year – Singapore
- Elite Partner 2025 – ESCO Pte Ltd
- FY2025 Marketing Excellence – Singapore



#### ② ESCO Pte. Ltd. Philippines が、Logitech パートナー コネクトプログラムで 2 つの賞を受賞しました。

- Elite Partner 2025 – Philippines
- FY2025 VC Specialist of the Year – Philippines



#### ③ ESCO AV Solutions Vietnam が、ロジクールパートナーコネクトプログラムでプレミアパートナー2025賞を受賞しました。

- Premier Partner 2025 award



#### ④ ESCO Pte. Ltd. Philippines が、フィリピンでの構内配線システムの供給について、YFC-BonEagle International Inc.のシルバーパートナーとしてチャネルパートナーに認定されました。

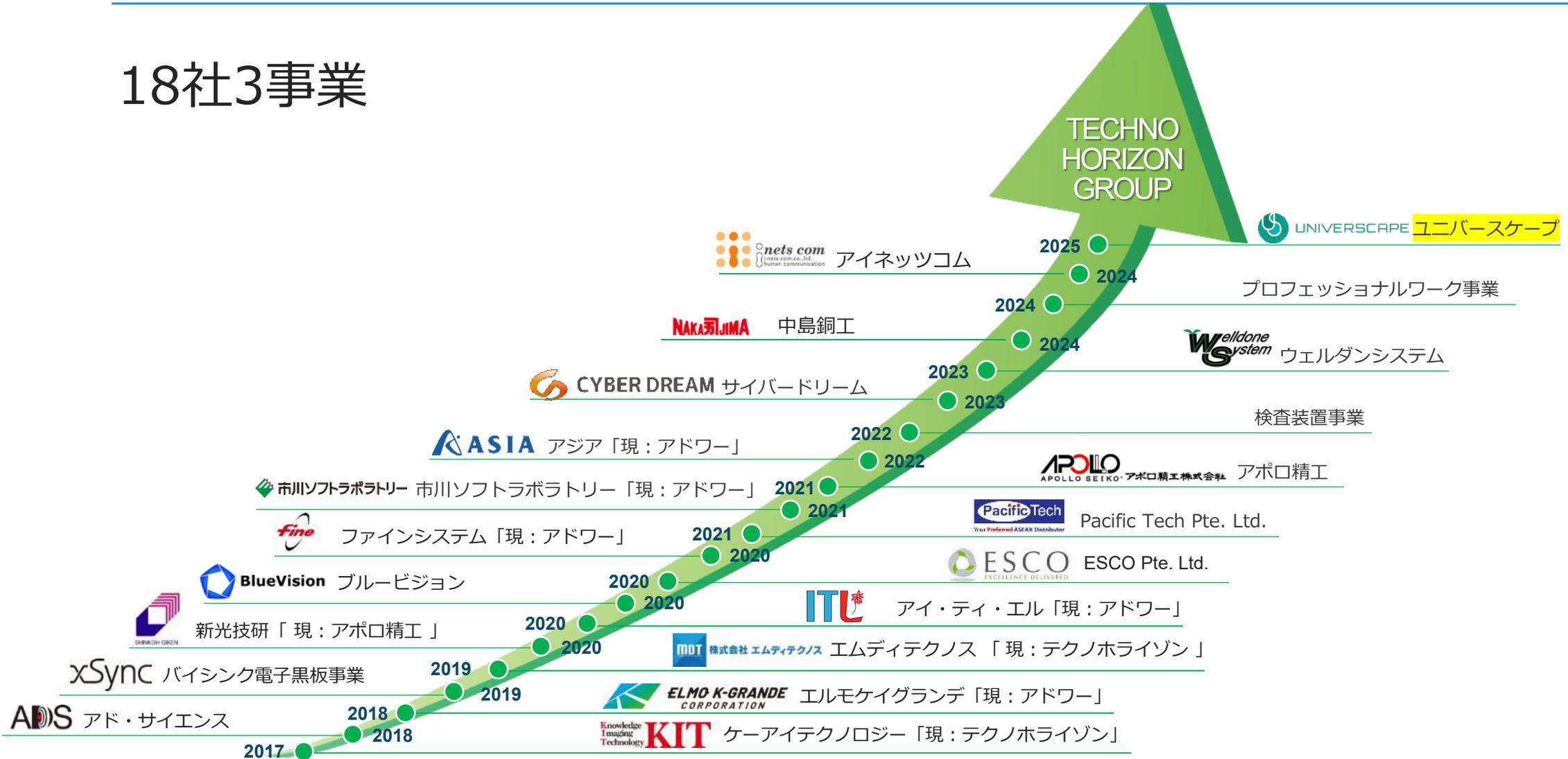
- Authorized Channel Partner





# (6) グローバル化を加速

18社3事業



## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： [info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風  
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波  
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶  
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い  
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス  
授かった希望  
未来へ羽ばたく風をつかめ

# TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO  
APOLLO SEIKO

## TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO  
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO  
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Weldone  
system

NAKAJIMA

nets.com  
i.nets.com.co.,ltd.  
human communication

UNIVERSCAPE